

レベチラセタム錠／ドライシロップ®「JG」 服用される患者さまとご家族の方へ

このお薬は、抗てんかん剤と呼ばれるグループに属する薬です。
脳内の神経の過剰な興奮をせずめて、てんかん発作を抑えます。

このお薬は、指示どおりに飲み続けることが重要です。

体調が良くなったと自己判断し、服用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。

お薬を服用する前に確認いただきたいこと

- ◆ 次のような方はこのお薬を服用することはできません。
 - ・以前にこのお薬に含まれる成分やピロリドン誘導体（ピラセタム（ミオカーム内服液33.3%））を服用して過敏な反応を経験したことがある人
- ◆ 次のような方は服用する前に必ず担当の医師または薬剤師にお伝えください。
 - ・以前にお薬を服用してかゆみや発疹などのアレルギー症状を経験したことがある人
 - ・腎臓に障害のある人
 - ・肝臓に重い障害のある人
 - ・妊娠または妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人
 - ・ほかにお薬などを使っている人（一般用医薬品や食品も含めて）

お薬の服用中に気をつけていただくこと①

- ◆ てんかん発作が悪化したり、てんかん重積状態*があらわれたりすることがあるので、ご自分の判断で服用する量を減らしたり、やめたりしないでください。服用を中止する場合には、医師の指導で少なくとも2週間以上かけて徐々に減量されます。

*てんかん重積状態：てんかん発作をくりかえし、なかなか回復しない状態

（裏面もご覧ください）

お薬の服用中に気をつけていただくこと②

- ◆ 眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下がおこることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作はしないでください。
- ◆ 患者さまやご家族などの方は、ちょっとした刺激で気持ちや体の変動を来す、意識の混乱、意識が乱れる、考えがまとまらない、いらいらする、あせる、興奮しやすい、攻撃的になるなどの症状があらわれ、死にたいという気持ちになる可能性があることについて、医師から十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ◆ 患者さまへ：攻撃的になる、死にたいという気持ちになるなどの症状があらわれた場合には、医師にご相談ください。
もし、気分に変化があったと感じた場合には、ご家族などの方にもお伝えください。
- ◆ ご家族などの方へ：患者さまの状態の変化について観察し、変化がみられた場合には、医師にご連絡ください。
- ◆ 妊娠または妊娠している可能性がある人は医師にご相談ください。
- ◆ 授乳している人は医師にご相談ください。
- ◆ ほかの医師を受診する場合や、薬局などでほかのお薬を購入する場合は、必ずこのお薬を服用していることを医師または薬剤師にお伝えください。

気になることがありましたら、医師または薬剤師にご相談ください。

連絡先（医療機関・薬局）